

心臓CT検査をお受けになる患者さんへ

安心して検査を受けていただくための簡単な説明です。

検査を受けられる前にお読みください。

監修 日本心血管画像動態学会・心臓血管放射線研究会

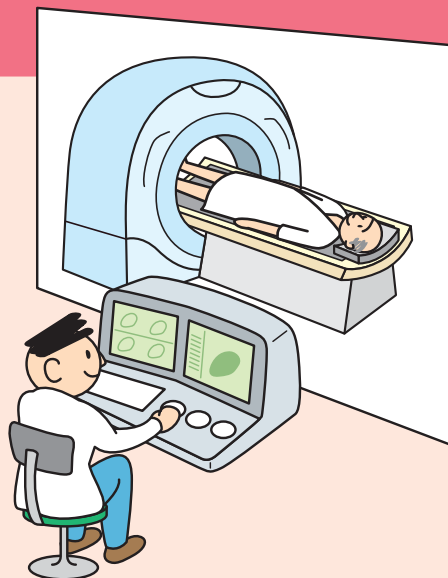
①心臓CT検査とは？

体にX線を照射し、撮影した体内の画像をコンピューターを使って立体的にみたり、血管のなかをみることで心臓の状態や働きを詳しく検査します。

入院の必要はありません。

検査にかかる時間は、15分～30分程です。

(着替え、事前説明、血圧測定などを含む)

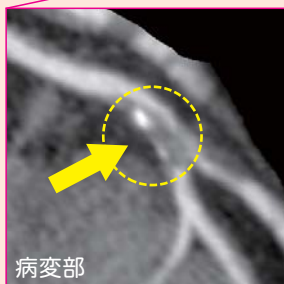
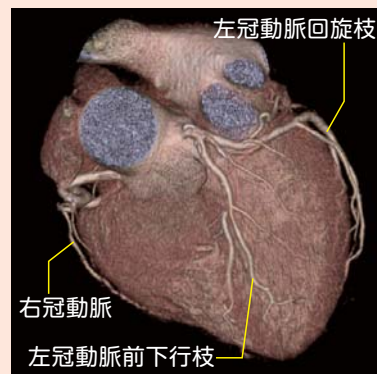
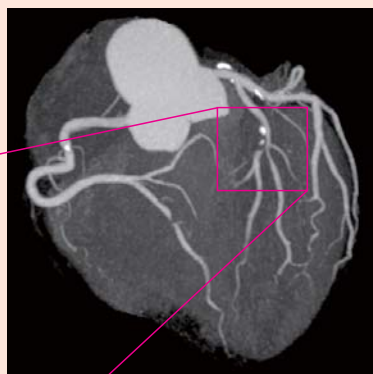


※不整脈が多い方、撮影時に10秒ほどの息止めができない方、腎臓の動きが著しく低下している方、造影剤アレルギーがある方や妊娠している方などは検査が受けられないことがあります。

②心臓CT検査でわかること

心臓に酸素や栄養をおくる

冠動脈と呼ばれる血管の状態や、心臓の全体像がわかります。



冠動脈の一部が細くなっている。病変部に石灰化(白い部分)がみられる。

冠動脈が細くなり、心臓に十分な酸素がおくれなくなることによっておこる狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患や、生まれながらにある心臓や血管の異常などを早期に発見することができます。また、手術後の経過なども調べることができます。

③ 検査前

食事は数時間前から控えていただく場合がありますが、飲みものの制限はありません。

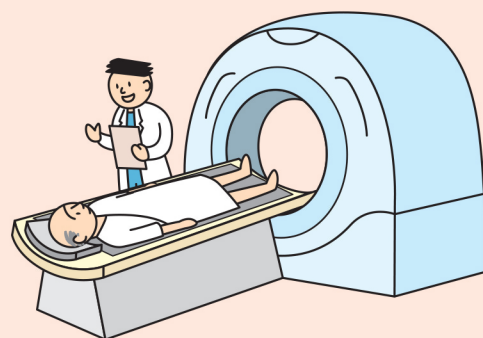
のどが乾かないよう、いつもどおり水やお茶を飲んでください。

脈の速さが検査に影響することがありますので、脈拍が落ち着くまでしばらくお待ちいただくことがあります。検査前の指定時刻にお越しください。

※脈が速い方は脈拍数をおさえる薬を服用していただくことがあります。この場合、薬の効果がでるまでに1時間ほどかかります(検査前夜に服用していただくこともあります)。また、血管の疾患をより見つけやすくするために、検査前に血管を広げる薬を服用していただくこともあります。

④ 検査中

造影剤を静脈注射しながら検査を行いますので、一時的に体が温かく感じる場合があります。検査室スタッフといつでも会話ができますので、気分が悪くなった場合はすぐにお知らせください。撮影時には、10秒ほどしっかりと息を止めて、体を動かさないでください。



■造影剤とは？

詳しい画像診断を得るために必要なヨードを含む薬剤で、ヨード造影剤と呼ばれています。検査中～検査終了数日後、まれに、造影剤の副作用として吐き気、発疹、かゆみなどの症状がみられることがありますので、異常を感じたらすぐに申し出てください。

※腎臓病、気管支喘息、アレルギー体質のある方、以前に造影剤で気分が悪くなったことのある方や糖尿病でお薬をのまれている方は、検査前に主治医もしくは検査スタッフにご相談ください。



⑤ 検査終了後

飲みものの制限がない方は、造影剤の尿への排泄を促すために、いつもよりも少し多めに水やお茶などを飲んでください。



なお、病院によって検査の手順が異なる場合がありますので、主治医や検査スタッフの指示にしたがってください。



バイエル薬品株式会社